

※ このたよりは、教育委員会から町民の皆様への、町教育全般に関する情報発信資料です。

美しい校舎で新しい教育を

小・中がスクラムを組む中で

国

道を南へ向かう途中、ひとときわ目を引く下市南小学校。閉校中かなり荒れが目立っていましたが、9月末で全面清掃が終わり、期待以上にピカピカになりました。さすがプロの業者様です。磨き上げられた廊下には顔が映っています。外回りの側溝、手の届かない高い外壁まで、見違えるほど美しくなっています。この校舎は、小学生に2年間、思う存分使ってもらった後、新たな利活用施設へ引き継ぎます。



来

年度の新5、6年生は、南小だけでなく、中学校にも教室をもちます。曜日を決めて中学校に登校し、英語や理科などの授業を受けます。教科担任制をとり、ICT機器を活用しながら、先生方に教科専門性を生かした授業を工夫してもらいます。各教科が本来もつ「おもしろさ」を感じさせることで、子どもたちの学習意欲や学力の向上につながります。

バ

ス通学については、南小周辺地区を除いて町内すべてを対象にする予定です。現在、路線や乗降場所の調整中ですが、いただいたご意見を参考にしながら、より適切で、安全なバス運行にしたいと思います。

また、学童保育の指導員の方々も、4月に向けて、場所の安全確認をしてくださいました。移転まであと5ヶ月。準備をしっかりと進めたいと思います。

授業が変わる！教室が変わる！PC導入

★10月、待望のパソコンが小中の教室にやって来ました。これまでも学校に40台以上はあったのですが、「一人一台」は全く意味合いが違います。★特に、授業での活用は大きなメリットです。個々の子どもの意見やノートをその場で表にして提示し、共有でき

ます。個々の進度に合わせたAIDリルの活用も期待されます。大変ですが、先生方の研修と活用の努力を心から応援したいと思います。



コロナ禍中でも元気な運動会・体育祭

★9月、10月、感染予防に配慮する中で、小学校、中学校、こども園の運動会・体育祭がありました。

★裏方で準備をする子どもも、きびきびと動き回り、とても印象が良かったです。★そしてクライマックス、各最高学年による集団演技。力強く堂々とした姿に大きな拍手が送られました。



<小6「下小オリンピックパレード2020」>



<中3「下中ソーラン」>



<ぞう組「紅蓮華」>

枚本町長の「下市特選セット」

It's cool!

★ そげ箸、折敷(小)、ハブティー。そんな下市町の特産品に加えて、人気の「ごんたくん」グッズ数点をセットにして、10月8日、9日、枚本町長から町内の園児・児童・生徒にプレゼントされました。地元の特産品を知り、下市に愛着をもって

★ 「ごんたくん」のモデルは、歌舞伎の三大名作の一つ「義経千本桜」に登場する「いがみの権太」です。「いたずらっ子」を意味する方言「ごんた」

★ いただいたという願いが込められています。



<三大名作>
・義経千本桜
・仮名手本忠臣蔵
・菅原伝授手習鑑



の語源です。子どもたちが「権太」のように情に厚く、夢のある元気な子に育つことを願っています。

リサイクルブックフェア 開催中!

★ 読書は堅苦しく考えなくて大丈夫。どんなジャンルや作者でもいいし、最後まで読まなくたっていいのです。一日の終わりを、心静かに本の世界の中で過ごしてみましよう。それだけで、ざわついた心が少しおさまり、安らかな眠りにつきます。

★ 下市観光文化センターの図書館には、たくさ

んの本があり、読んでみたい本が自由に借りられます。常駐で司書もあり、色々な相談ができますので、お気軽にお声かけください(火・水・第二金曜日休み)。

★ なお、10月29日(木)から11月12日(木)の9時~17時、リサイクルブックフェア(古本交換会)を一階エントランスで開

催中す。古本は交換でなくても、持ち帰れます。この機会に、本との出会いを楽しんでください。

図書館司書の津田です。い本がたくさん入っています。コロナ対策も万全ですので、ぜひお越しください!



「あの校舎は今」 ③ 旧秋野小学校

★ 春には木蓮の花が咲く美しい山里、水田が広がる平地に秋野小学校は建っています。運動場を囲んで、木造平屋建ての本校舎、左に講堂、右に二階建て校舎が並びます。惜しまれながらも平成12年3月に閉校。校舎は箸工場として生まれ変わり、現在は、背板が積まれています。

★ 60年前、この二階建て校舎を建築するとき、そこにあつた幼稚園舎を持ち上げ、なんと数十m動かしています。「園舎が動く」と



本校舎
←と講堂



二階建て校舎 →

当時の児童はびっくりしていたそうです。無事、校舎は昭和39年に完成。見晴らしのいい二階は5、6年生の教室として使われました。

★ そんな秋野小の記憶も、義務教育学校がバトンを受け継いでいきます。

ただひたむきに何かに取り組んでいる純粋な姿を見ると、涙が出てくる時があります。先日の体育祭での「下中ソーラン」がそうでした。ぐっと腰を落とした真剣な表情、機敏な動き、力強さ、一体感…。大人への巣立ちを目前にした彼らの心境にまで思いがおよび、ずっと拍手をしていました。

ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
✉ kyoit@town.shimoichi.nara.jp